

食の安全学習会

- 日本の食生活は、輸入食品が増え、日本の食料自給率は39%になり、6割近くが輸入食品で占められています。こうした**増え続ける輸入食品の安全性**は大丈夫なのでしょうか？
- 輸入食品は現在平均92時間余りかけて検疫所でチェックされていますが（今でも1割程度の抜き取り検査なので全量検査されているわけではありません）、**TPPに参加**すると48時間以内に流通させることが原則になります。**チェック体制が甘くならない**でしょうか？
- 食品添加物の生産量は増え続けているといえます。**食品添加物で心配な点**はどんなことでしょうか。また、**遺伝子組み換え食品**について、普段食品の表示で見えることはほとんどありません。しかし、**日本が一番輸入している**と言われてています。なぜでしょう。遺伝子組み換え食品とはどんな商品で、安全性は大丈夫でしょうか？
- 講師の天笠さんが、食の安全や、輸入食品や国産食品についての今の問題をやさしく詳しく話してくれます。そのような現状にどう対処していけばいいかも、学び考えてみましょう。

日時：**12月8日(木)** 10:30~12:30

場所：**岩手県自治会館3階 第1会議室** 参加無料

盛岡市山王町4-1 TEL: 019-622-6171

「輸入食品と国産食品との 安全性の違いについて」

増え続ける遺伝子組み換え食品や食品添加物の安全はチェックされてるの？安心な食卓をつくるため、私たちができることは・・・

講師 **天笠啓祐さん**フリージャーナリスト

1947年生まれ 早稲田大学理工学部卒業。

雑誌「技術と人間」の編集に携わる。

現在は「遺伝子組み換え食品いらないキャンペーン」代表。



主催 岩手県消団連

共催 いわて生協・岩手県生協連・いわて食・農ネット

お申し込み・お問い合わせ

岩手県消団連 電話：019-684-2225 FAX：019-684-2227